

<b>授業科目名</b>	音楽の理解(2100117)		
<b>時間割名</b>	音楽の理解(12102)		
<b>時間割担当</b>	山本美紀		
<b>実施期</b>	前期	<b>単位数</b>	2 必修
<b>曜日・時限</b>	月・2		

### 授業の目標・概要

音程・リズム・音色といった音楽の要素を出発点として、記譜法、長音階と短音階、音程、和音、コードなど、初等教育に必要な楽典に関する理解を深める。その際には教材として、幼稚園・小学校で季節に準じてよく使われる曲や学習指導要領にある共通教材を中心に取り上げ、実践に即したものをを用いる。授業の前半は講義として、取り上げた作品に出てくる楽典内容及び曲に関する解説を行い、後半に視唱を始めとしたソルフェージュ演習を行う。受講には、ピアノが必要。

### 学習の到達目標

目標としては、以下の3点を目指す。

- それぞれの講でとりあげられている楽典内容の正確な理解
- 楽譜を見て、旋律線が浮かび、既知の楽曲の場合は曲目がわかる
- 簡単な楽譜を見て、正しい音程でうたうことができる（視唱）

### 授業方法・形式

- それぞれの学習テーマに対して、テキストや補助資料を活用しながら授業を進めていく。
- 必要に応じて、取り上げるテーマに関する演習（歌唱や演奏、編曲、指揮など）を行う。

### 授業計画

- 第1回 オリエンテーション：講義内容概説 たんじょうかいのうた Happy birthday to you  
作品背景理解、楽典：記譜法の基礎1 音部記号、調号と拍子記号
- 第2回 春の音楽 おはながわらった 春の小川  
作品背景理解、楽典：記譜法の基礎2 音符と休符 音階と音程1
- 第3回 春の音楽 こいのぼり 茶つみ 作品背景理解、楽典：発想記号、速度標語 音階と音程2
- 第4回 初夏の音楽 あめふりくまのこ かたつむり  
作品背景理解、楽典：速度標語（速度変化）、強弱記号
- 第5回 初夏の音楽 たなばたさま うみ 作品背景理解、楽典：鍵盤と、音符・音名
- 第6回 夏の音楽 おばけなんてないさ タやけこやけ  
作品背景理解、楽典：長調と主要三和音 拍子とリズム
- 第7回 夏の音楽 とんぼのめがね うさぎ  
作品背景理解、楽典：長調と主要三和音 視唱方法の基礎1
- 第8回 秋の音楽 どんぐりころころ 虫のこえ  
作品背景理解、楽典：短調と主要三和音 視唱方法の基礎2
- 第9回 秋の音楽 やまのおんがくか かくれんぼ  
作品背景理解、短調と主要三和音 視唱応用（新曲視唱）
- 第10回 冬の音楽 あわてんぼうのサンタクロース ふじ山 作品背景理解、楽典：階名唱と移動ド
- 第11回 冬の音楽 北風小僧の寒太郎 ひのまる  
作品背景理解、楽典：近親調、和声法と伴奏の付け方
- 第12回 冬の音楽 ゆき はるがきた てをたたきましよう  
作品背景理解、楽典：長調の和音進行、コードネームの読み方と伴奏の付け方
- 第13回 日々の音楽より うれしいひなまつり ひらいたひらいた  
生活の中にある音楽について 楽典：短調の和音進行、伴奏をつける
- 第14回 日々の音楽より 一年生になったら きみがよ  
生活の中にある音楽について 楽典：音符の長さ（まとめ） 指揮をする
- 第15回 授業の総括としてこれまで身につけたことについてまとめ、実技試験を行う。

### 成績評価の基準

毎回の授業中に行う小テストと小レポートを中心に評価し、授業に対する理解度をチェックしていく。（30％）さらに、授業内での演習・取組などを評価する。（30％）さらに学期末テストにおいて総合的な理解を確認する。（40％）

### 授業時間外の課題

楽典問題は必ず復習し、理解できないところは授業内で参考書該当箇所を示すので、それを見直したり質問したりし、疑問を次回までに必ず解消しておくこと。毎回新しい内容をやるため、次回やる内容をあらかじめテキストで確認しておき、わからない用語については、参考書などで調べておく。

### メッセージ

講義時間内にお伝えします。

### 教材・教科書

テキスト：山本美紀／岡田美紀 他『【改訂新版】幼児教育・初等教育のための音楽基礎知識と表現 - 音楽でつむぐ学びの歳時記 <伴奏譜・楽器詳細付き>』ヨベル社、星野豊『6年間の総まとめ 音楽のいずみ』教育研究社

## 参考書

参考書：授業中に指示する